

総合<総合>	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
社会福祉論			11369	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
西橋 隆三	選択	2	元市職員（福祉事務所長・障がい児療育センター所長）社会福祉士			

### 授業の到達目標

高齢化・少子化が同時進行している現代の社会状況の中で、保育、介護、医療等の問題には誰もが直面することとなる。これらの福祉問題の内容を理解し深く考えていくことは、福祉の専門分野に携わっていくためには不可欠なことである。授業では社会福祉の理念、制度や援助などを広い視野から学び主体的に考える力を身に付ける。このクラスでは主にKAISEIパーソナリティのI（知性）とS（奉仕）を養う。

### 授業の概要

授業では、社会福祉に関する基本的な項目を学習するとともに、最新のデータや資料によりわが国の社会福祉の動向や課題等を理解できるようにする。指定する教科書の構成に従い授業を進めるが、時事的な問題やキーワードとなる内容などは討議しながら内容を深めて確認する。

### 授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 社会福祉と私たちの暮らし
- 3 社会福祉の理念と歴史の変遷
- 4 現代社会における生活問題
- 5 社会福祉制度と実施体系
- 6 社会福祉の分野 子ども家庭福祉 1
- 7 社会福祉の分野 子ども家庭福祉 2
- 8 社会福祉の分野 障がい児者福祉
- 9 社会福祉の分野 高齢者福祉
- 10 社会福祉の分野 公的扶助
- 11 社会福祉の分野 地域福祉・医療福祉
- 12 社会福祉における相談援助
- 13 社会福祉における利用者の保護にかかわるしくみ
- 14 社会福祉の動向と課題
- 15 まとめと試験

### 授業の方法

講義を主体としながら視聴覚教材やディスカッションを取り入れていく。

### 準備学修

Webで確認すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点40%、定期試験60%

### 欠席について

欠席が5回を超えた場合は不合格とする。

### テキスト

小林育子・瀬早百合共著「社会福祉と私たちの生活―保育を学ぶ人のために」萌文書林 2016年  
また、授業の中で必要な資料を配布する。

### 参考図書

必要な参考図書については授業の中で提示する。

### 教員連絡先

nishihashi@kaisei.ac.jp

総合<総合>	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
人権教育論			11373	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
堀 正人	選択	2	神戸市教育委員会人権同和教育室指導主事 阪神淡路大震災避難所支援 近畿地区同和行政研究発表			

### 授業の到達目標

人権教育の基本的な概念を学習し、人権感覚を高め人権学習の実践力を養う。そして学校での人権学習の具体的な指導法を考察する。さらに人権学習の指導案を作成し実践的な模擬授業を経験する。このクラスではKAISEIパーソナリティ-I（知性）を養い、プレゼンや模擬授業、ロールプレイを体験する過程でK（思いやり）の諸能力を生かします。

### 授業の概要

毎回配布するレジュメ・資料を中心に授業を進める。人権感覚を磨く方法や、人権教育の在り方について考察し、実際の取り組み方を学ぶ。

### 授業計画

- 1 人権とは(人権感覚、考え方)
- 2 偏見と差別
- 3 人権・同和教育とは
- 4 人権尊重の教育
- 5 子どもの人権 I (虐待、体罰、子どもの安全)
- 6 子どもの人権 II (いじめ、不登校、権利条約)
- 7 学校における人権学習 I (学習権、個性)
- 8 学校における人権学習 II (複数指導、生活科)
- 9 人権教育指導実践 I (項目別)
- 10 人権教育指導実践 II (資料研究)
- 11 人権教育指導実践 III (人権ゲーム、ロールプレイ)
- 12 阪神淡路大震災と人権
- 13 人権学習のコラム
- 14 諸外国の人権教育事情
- 15 人権教育の課題、まとめ

### 授業の方法

講義を中心に発表やロールプレイも取り入れ、模擬授業を実践してもらいます。

### 準備学修

世界中で報道される人権問題に関心を持っておくこと。毎回配布さ

れるレジュメやプリントをファイルし、講義メモを添えて整理保存すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

### 欠席について

やむをえず欠席する時は事前事後に届け出ること。

### テキスト

### 参考図書

授業の中で適宜紹介します。

### 留意事項

ロールプレイやゲーム等で人権感覚を磨く訓練をします。毎回の授業の記録ファイルを最後に提出してもらいます。オンライン参加学生は、必ずビデオ・オーディオをオンにして授業を受けること

### 教員連絡先

mhor@kaisei.ac.jp

資格科目〈キッズ・イングリッシュ・教職〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教育・学校心理学	ET	13815	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
濱田 誠二郎	選択	2	学校心理士SV、臨床心理士、公立小教員		

### 授業の到達目標

幼児、児童及び生徒の心身の発達や学習の過程について、基礎的な知識を身に付ける。代表的な研究者の理論に基づく日常的な具体例を取り上げ、発達を踏まえた主体的な学習活動を支える指導の基本的な考え方を理解する。  
このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）とE（倫理）の育成を目指す

### 授業の概要

教育課程上の様々な場面に現れる課題、主に幼児期・児童期における乗り越えるべき課題を心理学的な切り口で捉える。子どもの健やかな成長のために、発達・学習・人格・適応・保育者との関係性・特別支援教育等の現状と課題などを体系的に学ぶ。

### 授業計画

- 1 幼児、児童及び生徒の心身の発達に関するエリクソンの理論と方法
- 2 幼児、児童及び生徒の心身の発達に関するピアジェの理論と方法
- 3 幼児、児童及び生徒の心身の発達に関する道徳的なコールバーグの理論と方法
- 4 幼児期から青年期において、社会性の発達
- 5 幼児期から青年期における現代の発達課題
- 6 認知発達、認知機構の変遷
- 7 主体的な学びの開発と体系化
- 8 主体的、対話的で深い学びの実践例
- 9 学習内容、発達に合った適切な学習形態
- 10 動機づけ、意欲を引き出す学習形態の在り方に関する事例研究
- 11 主体的な学習の成果を的確に捉えた評価
- 12 学習成果の可視化
- 13 主体的な学習、思考力を育む学習集団
- 14 発達障害の理解と支援
- 15 まとめと振り返り

### 授業の方法

講義が中心ではあるが、時には双方向のコミュニケーションを採り入れて、各自の考えを交流しながら進める。

### 準備学修

各自の幼児期・学童期を振り返り、良かった支援や今でも疑問に思えることを整理しておくこと。

### 課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

### 欠席について

学内規定に準ずる

### テキスト

濱田誠二郎著『心理学を生かしたクラスづくり』 株式会社ERP

### 参考図書

授業中に紹介する

### 留意事項

マスコミでとり上げられる子どもに関する記事に興味・関心を持っておく。

### 教員連絡先

shamada@kaisei.ac.jp

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

資格科目〈キッズ・イングリッシュ・教職〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教育課程及び総合的な学習の時間の指導法（中高）		13854	II	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
都賀 純／堀 正人	選択	2	神戸市教育委員会指導課指導主事		

### 授業の到達目標

教育課程の意義や編成の方法を学び、カリキュラムマネジメントの重要性を理解する。また、教育課程における総合的な学習の時間の位置づけや意義を理解し、指導計画の作成の仕方を修得する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）とK（思いやり）の育成を目指す。

### 授業の概要

教育課程の果たす役割や機能、意義を理解し、公的な性格を有する学習指導要領を学ぶ。さらに、学習指導要領の歴史的な変遷や諸外国との教育制度の比較から、現在の教育課程の意図を考察する。そして、教育課程における「総合的な学習の時間」の模擬編成に取り組む。

### 授業計画

- 1 はじめに、教育課程とは
- 2 教育課程に関する法律
- 3 教育課程の歴史(学習指導要領の変遷)
- 4 総合的な学習の時間について
- 5 総合的な学習の時間の実践事例Ⅰ
- 6 総合的な学習の時間の実践事例Ⅱ
- 7 総合的な学習の時間とカリキュラムマネジメント
- 8 地域社会との連携と総合的な学習の時間のあり方
- 9 各学校種における教育課程(幼稚園、小学校)
- 10 各学校種間における教育課程(中学校、高等学校、特別支援学校)
- 11 教育課程の編成と評価
- 12 学校種間の連携・部活動と教育課程
- 13 今日の課題と教育課程
- 14 諸外国の教育課程(欧米・中・韓)
- 15 教育課程の模擬編成演習とプレゼンテーション、まとめ

### 授業の方法

毎回レジメを配布し、授業を行う。

### 準備学修

図書館等で、日本や諸外国の教育制度等の参考文献を調べておく

### 課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

### 欠席について

事前、事後に届け出る

### テキスト

中学校学習指導要領解説（総則編）最新版  
中学校学習指導要領解説（総合的な学習の時間編）最新版

### 参考図書

今、求められる力を高める総合的な学習の時間（小）文部科学省編 教育出版  
今、求められる力を高める総合的な学習の時間（中）文部科学省編 教育出版  
今、求められる力を高める総合的な学習の時間（高）文部科学省編 教育出版

### 留意事項

配布したレジメや資料をファイルしておくこと

### 教員連絡先

mhorik@kaisei.ac.jp  
toga@kaisei.ac.jp

資格科目〈キッズ・イングリッシュ・教職〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教育方法論	ET	13851	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
堀 正人	選択	2	神戸市教育委員会指導課指導主事 文科省中央教育研修会参加、文科省海外派遣教員		

**授業の到達目標**  
子どもたちに求められる資質・能力を育成するための教育の方法、子ども理解、教育評価等について学修し、授業の設計技術を修得する。さらに、情報機器や教材の活用を通じて授業展開の方法を理解する。このクラスではKAISEIパーソナリティのA（自立）とI（知性）を養う。

**授業の概要**  
学校教育の理念に基づいた教育を実践するための方法や知識を身に付け、基礎的な学習理論と指導技術を学ぶ。

**授業計画**

- 1 教育方法学の歴史
- 2 カリキュラム論
- 3 学習指導要領について
- 4 教育課程と教科外(総合的な学習の時間、特別活動)の授業の役割
- 5 教科書と学校教育の関係
- 6 授業の構造論
- 7 学校における集団学習の意義と方法(組織、計画、指導体制)
- 8 教育技術論
- 9 情報教育の内容と構成について
- 10 授業の方法と実践について
- 11 学力と教育評価について
- 12 特別支援教育・人権教育
- 13 模擬授業実践と考察(特別の教科・道徳)
- 14 模擬授業実践と考察(特別活動)
- 15 模擬授業による実践と考察・まとめ

**授業の方法**  
毎回レジメを配布し授業を進め、レポート作成やロールプレイに取り組む。

**準備学修**  
中学校学習指導要領（総則編）を読んでおくこと

**課題・評価方法、その他**  
平常点70%、定期試験30%

**欠席について**  
やむをえない事情があるときは、事前事後に届け出ること

**テキスト**  
文部科学省編 「中学校学習指導要領解説（総則編）」最新版

**留意事項**  
授業中に配布した資料をもとに毎回レポートを作成する

**教員連絡先**  
mhori@kaisei.ac.jp

資格科目〈キッズ・イングリッシュ・教職〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教育経営論（中高）		13853	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
堀 正人	選択	2	中学校教育研究会研究部会長 中学校長 神戸市教育委員会指導主事 神戸市公開異人館副館長		

**授業の到達目標**  
社会の状況の変化が学校教育にもたらす影響とそこから生じる課題、それに対応する教育施策の動向を理解する。また、公教育が果たしている社会制度的な意義について考察し、学校教育の基本的な知識を身に付ける。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）の育成を目指す。

**授業の概要**  
公教育の意義、原理、構造について法的な仕組みや基礎的な知識を学ぶ。さらに、学校と地域との連携の取り組みかの中から学校安全の在り方や危機管理について考察する。

**授業計画**

- 1 学校教育と公教育について
- 2 教育行政の仕組みについて
- 3 教育改革の歴史概要
- 4 学校教育における法制度について
- 5 学校の組織と運営について
- 6 学校における教員の在り方について
- 7 学校経営と教師力
- 8 学校と地域の連携について
- 9 学校教育の評価について
- 10 変容する子どもの生活と教育的な課題
- 11 安全教育・安全管理の取り組み
- 12 学級経営の効果的な指導法について
- 13 災害時に学校が果たす役割について
- 14 学校における危機管理のあり方
- 15 開かれた学校づくりについて・まとめ

**授業の方法**  
毎回配布したレジメを中心に授業を進める。レポートを書くこと、グループディスカッション等を多く取り入れる。

**準備学修**  
世界各国の教育制度や教育の現状、教育法等について事前に調べた

り、レポートを作成したりすること。

**課題・評価方法、その他**  
平常点70%、定期試験30%

**欠席について**  
やむを得ず欠席する場合は事前事後に届け出ること。

**テキスト**  
授業中に配布するレジメや資料をファイルしておくこと

**参考図書**  
必要に応じて、随時紹介する。

**留意事項**  
出席と授業態度、レポートを重視する。

**教員連絡先**  
mhori@kaisei.ac.jp

ET 教職科目 <ET 教職科目>	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教職実践演習 (中・高)	ET		14214	IV	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
堀 正人／惣谷 美智子	選択	2	私立・公立中学校、私立高等学校教員 神戸市教育委員会指導課指導主事 中学校長			

## 授業の到達目標

中学校又は高等学校の教師を目指す学生が、教職課程科目で学修した教科指導や生徒指導等の内容について実践することを通して、それらの知識及び技能を修得したことを確認する。このクラスではKAISEIパーソナリティのA (自律)、I (知性)、及びE (倫理)を養う。

## 授業の概要

中学校及び高等学校の教師として必要な知識や技能である(1)使命感・責任感・資質に関する知識、(2)社会性や対人関係能力、(3)教科の指導力について十分に修得できているかどうかをグループ討論、ロールプレイング、模擬授業で確認していく。また、実際の現場を見学することで、修得した知識・技能がどのように活用されているかをまとめる。

## 授業計画

- 1 イントロダクション これまでの学習や教育実習について(1)～講義、発表
- 2 教師としての使命感や責任感、資質について(1)～講義
- 3 教師としての使命感や責任感、資質について(2)～グループ討論
- 4 教師としての社会性や対人関係能力について(1)～講義とグループ討論
- 5 教師としての社会性や対人関係能力について(2)～ロールプレイング
- 6 生徒の理解や学級経営について(1)～討論
- 7 生徒の理解や学級経営について(2)～グループ討論
- 8 学級経営案の作成とグループ討論
- 9 学校現場の見学(1)～見学、調査
- 10 学校現場の見学(2)～教職経験者の講話とグループ討論
- 11 教科の指導力について(1)～講義
- 12 教科の指導力について(2)～グループ討論
- 13 教科の指導力について(3)～模擬授業とその振り返り
- 14 資質能力の確認・まとめ(1)～小論文とアンケート
- 15 資質能力の確認・まとめ(2)～講評

## 授業の方法

講義の中でグループ討論を行う。ロールプレイング、模擬授業も行う。

う。

## 準備学修

次回のテーマに関するハンドアウトをあらかじめ配布するので、それを読み、その中に示されている課題を仕上げてくること。

## 課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

## 欠席について

出席点(100点満点)は全体の20%とし、欠席は1回につき20点減点、遅刻・早退は1回につき6点減点する。

## テキスト

適宜、ハンドアウトを配布する。

## 参考図書

授業中に随時紹介する。

## 留意事項

教職に対する情熱をもって授業に参加・貢献する誠実な態度が必要である。実際の中学校を訪問し随時研修を行うので、平素から服装等に配慮すること。

## 教員連絡先

soya@kaisei.ac.jp  
mhorik@kaisei.ac.jp

ET 教職科目 <ET 教職科目>	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
生徒指導論	教職中等		14217	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
松井 敦	選択	2	中学校教諭 中学教頭 小学校校長			

## 授業の到達目標

生徒指導の理論と方法、教育相談、進路指導について学ぶ。この講座ではKAISEIパーソナリティのA (自律)でコミュニケーション能力を養い、事例研究の実践でK (思いやり:傾聴力)とI (知性)状況把握力を高める訓練をする。

## 授業の概要

教科書(文部科学省「生徒指導提要」)を参考資料として授業を進める。生徒指導の方法や生徒理解について考察し、実際の取り組み方を学んでいく。さらに、教育相談の手法を学び、進路指導、キャリア教育も生徒指導の視点から考察する。

## 授業計画

- 1 生徒指導の意義と原理(集団指導、個別指導の方法原理)
- 2 学校運営と生徒指導の関連
- 3 教育課程と生徒指導(教科、道徳教育)
- 4 教育課程と生徒指導(総合的な学習の時間、特別活動)
- 5 キャリア教育と生徒指導の関わり
- 6 生徒の心理分析と理解の方法
- 7 学校における生徒指導体制を学ぶ(実際の中学での見学体験)
- 8 教育相談の進め方(カウンセラー、専門機関)
- 9 生徒指導の進め方(支援体制、関係機関との連携)
- 10 生徒指導における教職員の役割
- 11 進路指導における生徒指導について
- 12 課題別生徒指導の考察
- 13 生徒指導に関する法制度について
- 14 生徒指導短縮事例研究(前半)
- 15 生徒指導短縮事例研究(後半)、まとめ

## 授業の方法

レジュメに従って授業を行う。また、配布した資料をもとに事例研究を行い考察をする。

## 準備学修

テキスト「生徒指導提要」(文部科学省)を読んでおくこと。

## 課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

## 欠席について

やむをえない事情があるときは、事前事後に届け出ること。

## テキスト

文部科学省編「生徒指導提要」最新版

## 参考図書

随時、紹介する。

## 留意事項

授業中に配布した資料を基に考察し、毎回レポートを作成する。臨地研修として、1回は近隣の中学校を訪問し見学する予定です。平素から服装等に配慮すること

## 教員連絡先

matui@kaisei.ac.jp

ET 教職科目〈ET 教職科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教育実習指導（中等）	教職中	14231	IV	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
堀 正人／吉野 美智子	選択	1	神戸市教育委員会指導課教育実習担当主事 中学校長		

### 授業の到達目標

教育実習の事前及び事後の指導を通して、教育の社会的役割を認識し、教職への積極的な態度を養う。教育実習は、教職課程のいわば総仕上げとしての重要な意味をもつものである。大学で学んだ教育理論を教える立場に立つことによって、より深いものとして身につけ、学校という教育現場において、教育実践を通して学校教育についての理解を深め、教職への自らの決意と適性を確認する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）、I（知性）、及びE（倫理）を養う。

### 授業の概要

教育実習の実施計画に基づき、実習校において実習を行うための事前及び事後指導を行う。また、実習校における実習期間中に、本学の指導教員が実習校を訪問し、研究授業等の指導にあたる。

### 授業計画

- 1 教育実習事前指導①
- 2 教育実習事前指導②
- 3 教育実習事前指導③
- 4 教育実習事前指導④
- 5 教育実習事前指導⑤
- 6 教育実習事前指導⑥
- 7 教育実習事後指導①
- 8 教育実習事後指導②

### 授業の方法

発表とディスカッションを多く取り入れる。

### 準備学修

- ・テキストについて、前時に指示された箇所を読んでおくこと。
- ・毎回、指示されたテーマについて各自が発表を行うので、その準備をしておくこと。
- ・中学校・高等学校の学習指導要領をもう 度よく読むこと。

### 課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%

### 欠席について

出席点（100点満点）は全体の20%とし、欠席は1回につき、20点減点する。遅刻・早退は1回につき6点減点する。

### テキスト

米山朝二・杉山敏・多田茂『〔新版〕英語科教育実習ハンドブック』（大修館）  
文部科学省『中学校学習指導要領解説 外国語編』最新版  
文部科学省『高等学校学習指導要領解説 外国語編 英語編』最新版  
必要に応じてハンドアウトを配布する。

### 参考図書

授業中に随時紹介する。

### 留意事項

- ・平常点には、口頭発表、レポート、出席状況・日頃の学習態度の評価が含まれる。
- ・毎回の授業に出席することはもちろんであるが、それだけではなく、熱意をもって学習する態度が必要である。

### 教員連絡先

mhori@kaisei.ac.jp  
myosino@kaisei.ac.jp